



よろてば沼垂

Vol. 49

2月

「東新潟中学校の軌跡Ⅱ」



(当時の校舎)



(労力奉仕団の旗)

＜文部省建築モデルスクールの誕生と労力奉仕団＞

校長室前廊下には、「労力奉仕団」と書かれた旗が額に掲げられています。この古びた旗にはどのような歴史があるのでしょうか。創立50周年記念誌によれば、この旗は「昭和23年に長嶺中学、木戸中学の統合で新しい中学を現在の地に建設することが決定した後に、長嶺地域を含めた地域の住民が率先して、無償で埋め立て工事に協力した際に掲げられたもので、木造モデルスクールであった本校の創設に際し、地域の人々が教育に注ぎ込んだ惜しみない愛情の証」と綴られています。また、学校沿革史では昭和23年11月21日に校地埋め立て工事の起工式が行われ、同月27日、土工列車運転の準備が整い総面積8千坪に及ぶ埋め立て作業が始められたとあります。翌24年8月10日に埋め立て工事完成の竣工式が行われ、結果、地元の勤労奉仕団出勤人員延べ7604人、総工費1082万8千円、運び込まれた土は、6トン済みの大型ダンプでざっと10500台分、ブルドーザーもない時代に、整地も含めてほとんどが人力作業で行われたとされています。工事前の校地一帯は、一面に葦の生えた湿地帯「やち」と水田で、わずか8ヶ月余りで校舎建築にふさわしい土地へと変貌しました。グラウンドの土も、校舎の床下の土もすべて、地域の人々の善意と汗が染み込んでいます。

昭和25年3月14日は校舎建築の起工式、8月17日に第一期工事の竣工、その後、文部省から「建築モデルスクール」に指定され、当時木造校舎としては全国でも類をみないほど立派な校舎が誕生しました。新校舎への移転は12月4日、雪こそまだ降らない厳冬のさなかでした。昭和25年10月10日の新潟日報夕刊は、「1500人を収容、東新潟中11月に開校式」と報じており、昇降口を民主的に生徒と先生を共通した点、各教室とも電源を付け左側の屋外に面した窓を高く大きく採光を取り入れているなど、今では当たり前のような工夫も記載しています。待ち望んでいた新校舎、当時の生徒の笑顔が目に浮かびます。

(東新潟中学校長 津野庄一郎 つづく)



歌声喫茶 & よろず相談

13日

6日の天候が悪かったため、歌声とよろず相談を同時に行いました。多くの歌を歌いしゃべりも楽しみました。

*よろてば沼垂では、地域の茶の間と、会報誌の存続のため、一口五百円から寄附を募っております。何卒、宜しく願います。

20日

よろてば映画会 ～「虎の尾を踏む男たち」～ ■1945年公開

昭和の名作映画は、年月がたった今見ても面白く、また昔とは違った発見があり色々な楽しみがあるようです。



27日

■この日は冬休みに入ったこともあって地域の子供が参加しました。男の子の参加は珍しく、準備から参加してくれました。このような交流は今後も続けていってほしいです。



■全体的には人数は少なかったですが、年末とういこともありいろいろなお話をしたりして盛り上がりました。今年はどうだったとか、来年は・・・といった具合で！来年もよろしく願います。



よろてば食事会
〜カレーの日〜

7日
(金)

歌声喫茶

懐かしい童謡や季節の歌、歌謡曲等、皆さんで楽しく歌いましょう。歌いたい曲のリクエストもお待ちしています。



時間 13:30~14:30

14日
(金)

よろず相談& 血圧測定

地域包括支援センター宮浦東の職員さんに来ていただいています。血圧や骨密度測定などの簡単な健康チェックができます。

時間 13:30~15:30



2月

21日
(金)

よろてば映画会

「故郷」



監督：山田洋次 主演：井川 比佐志
倍償 千恵子

瀬戸内海の小島に住む一家が、押し寄せる高度経済成長の波に追われ、それまでの慎ましくも幸せな生活を手放すまでの揺れ動く心情を哀惜をこめて描いた人間ドラマ。

時間 13:20~15:30
(上映時間 2 時間程度)

28日 (金)

よろてば食事会

～カレーの日～

よろてば沼垂でおしゃべりしながら、おいしい料理をみんなで作って、楽しい時間を過ごしませんか。漬物や惣菜などの持ち込みもお待ちしております。もちろん、食事だけでも大歓迎です。食事のご予約は前日までお願いします。

時間 9:30 ~ 調理
12:00~ 昼食

料金 300円



- ✓ 基本開館時間 / 13:30~16:00
途中入退場自由
- ✓ 基本料金 / 初回無料 2回目以降200円
回数券 (11回分) 2000円
- ✓ お問い合わせ先 / 事務局代理 NPO法人伴走舎
- ✓ 沼垂よりどころ やさい村・よろずや

☎025-278-8778

どなたでも気軽にご利用できます。来たい時に来て帰りたい時に帰れます。開館中は自由にお過ごしください。基本料金は、お茶菓子などの雑費に使われます。

よろてばコラム

「まあ～！ 15183だって！驚いたわ！」

一日の徒歩数を7000～8000と自分に科しているある日の万歩計の15183には驚いた。振り返ってみると午前中は、10時から「楽しい会」に参加し31人もの方々に誕生日を祝ってもらい昼食をご一緒させてもらった。午後からは、社会福祉協議会の「ミュージックベルの会」で楽しく練習。終わるとその足で買い物をし、少し重い荷物を手に万代橋を渡りボランティア活動場所であるクロスパルへと急ぐ。徒歩である。3年前に自転車に乗るのをやめた。車は免許がないので当然移動手段は徒歩である。「バスという選択肢もあるじゃない」と言われそうだが最近のバスの不便さ、不自由さ、使いにくさを体感してからあまり利用しなくなった。全然利用しない訳でもないが・・・歩いて渡る万代橋が好きなのである。

ところで年明けから新たに歩数稼ぎの方法を探し当てた。新潟市の管理する「老人憩いの家・入浴施設」。以前より聞いてはいたが実際に利用することはなかった。このところの天候の良さが「利用したら？」と後押ししてくれた。お蔭で一日の徒歩数目的達成を問題なくクリアできた。一応、入浴券の提示が義務付けられているが管理人さんの「コンニチワ！」の笑顔の声掛けにホッとしてから「お願いしま～す」となるのが常である。

利用して初めて知る先輩おばちゃま達の優しさと気配りあるリード。次は火曜に行こうかな。裸の付き合いを始めた令和2年しず子さん75歳。

お福分け

高校最後の冬。世間は受験シーズンに突入し、私は進学 of 二文字に押しつぶされていた。お守りには頼らない。と初詣で友人に恰好をつけたものの、実際には絵馬に学校の名前を書くのも忍びないほどで、私はみんなの目を盗んで菅原道真の賽銭箱に小銭をもう2枚追加した。しかしそんなに簡単に点数はあがらない。学問の神様は、閻魔様とはわけが違う。

私は心のすみで来年に出直すことを考えはじめていた。

一つ年上の先輩、ミエちゃんに会ったのは、何回目かわからない合否発表の直後だった。受験の重圧から逃れようと駅をふらついていた私に、ミエちゃんは丁度良かったと言って、小さな包み紙を渡した。

「バイトの初給料で買ったの。これ、似合うと思うよ」照れくさそうに笑うミエちゃんは、一年前の窮屈な姿などまったく想像もつかない軽やかな足取りでホームへ向かった。

ミエちゃんのはにかみに、歩き方に、自由がくまなくいきわたっていた。私はもう一度参考書を開いてみようと思った。雪の降らないうちに帰ろう。そしてココアを飲みながら、机に向かう。それでいいんだ。

本間 詠子

第49号も沼垂地域の皆様のご理解とご協力により、発行できました。これからも会報誌「よろてば沼垂」を宜しくお願ひします。ご意見やご要望がありましたら、気軽に伺ひ合わせください。会報誌は「沼垂よりどころやさしい村・よろずや」「なじらぬ沼垂しんこ屋」にありますので必要な方はお持ち帰りください。

毎月500部発行
沼垂東・日の出・本馬越
地域 回覧配布予定

2020.1.25 発行 企画運営：よろてば沼垂

表紙ロゴ作成：Photo-HATRIX (羽鳥 朗) 編集：青木 洋之

発行(代理)：特定非営利活動法人にいがた若者自立支援ネットワーク・伴走舎